



成長の壁を打破する
「ベンチャーエコシステム」の創出

2019年10月30日

イノベーション・エンジン株式会社

代表取締役社長 佐野 睦典

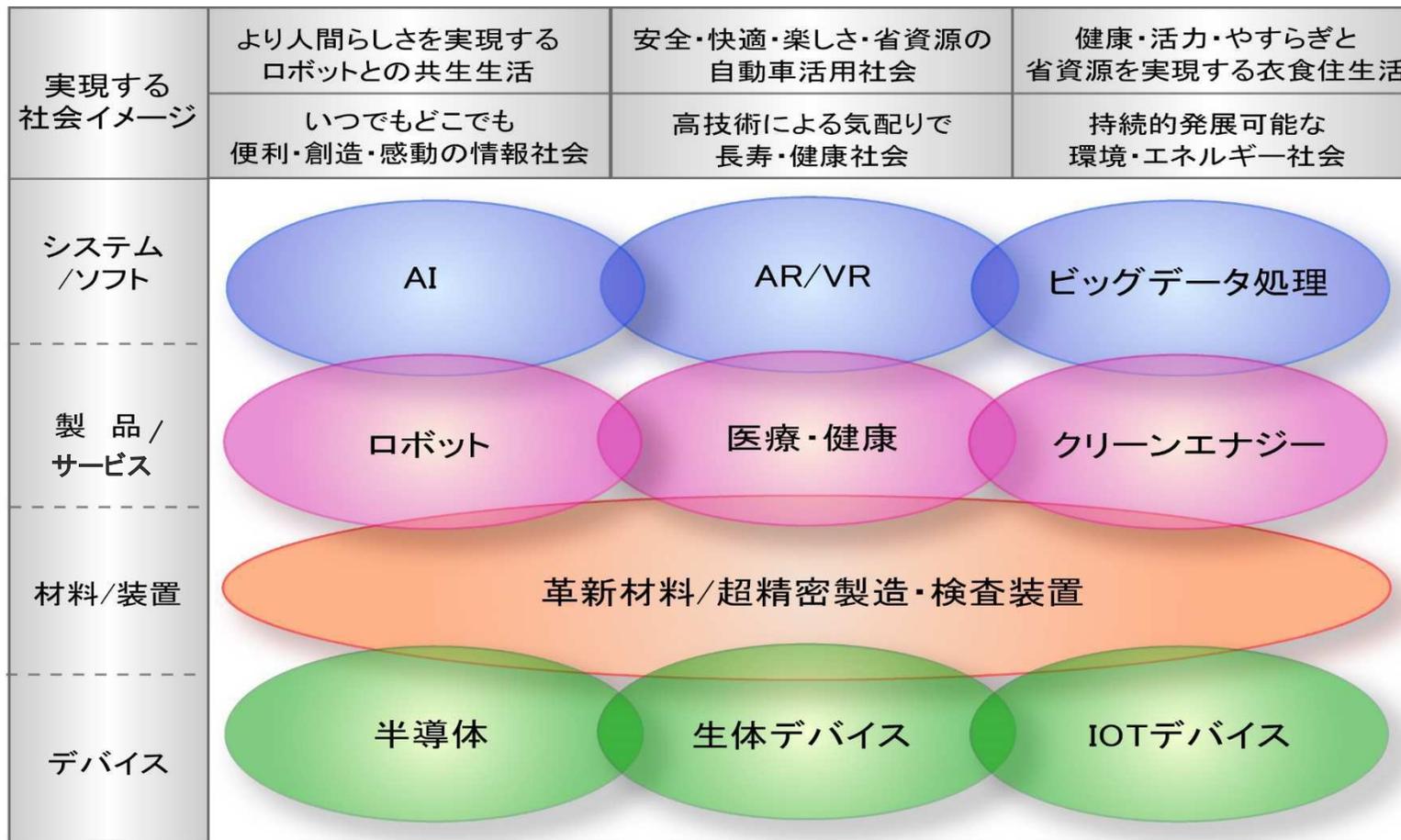


イノベーション・エンジン株式会社

- 設立年月日： 2001年1月31日
- 目的： 技術を活用した産業ニューフロンティアの創出を促すエンジンの役割を果たす。
- 代表取締役 佐野 睦典
- 事業内容：
 - ・技術の事業化に投資をする「ベンチャー企業向けファンド」を組成している。これまでのファンド業の運用実績は約230億円。
 - ・また、未上場会社に加え新興の上場企業に対する投資事業も行う。
- 資本金： 1億円
- 所在地： 〒105-0014 東京都港区芝2-3-12 芝アビタシオンビル3F
- 電話／FAX： TEL 03-5730-6721 / FAX 03-5730-6722
- URL： <http://www.innovation-engine.co.jp/>

技術系ベンチャーキャピタルのパイオニア

2001年創業以来、AI、ロボット、環境・エネルギー、ネットビジネス、バイオ創薬、先端材料など、重要技術領域に投資を実行



卓越した投資パフォーマンス(1)

大震災(2011年3月)後の6年間で17社にファンド投資(4,000万円以上に限る)。既に、9社のIPO実現、4社が株価を上げて売却実現。

No.	段階	社名	業種	出資年月	IPOor回収年月	IPOor回収期間	回収倍率	回収方法
1	P	(株)キャピタル・アセット・プランニング	金融情報処理	2011/ 8	2016/10	5年2ヶ月	5.2倍	IPO
2	P	Delta-Fly Pharma(株)	モジュラー創薬	2011/12	2018/10	6年10ヶ月	5.9倍	IPO
3	L	エンカレッジ・テクノロジー(株)	セキュリティ	2012/ 5	2013/12	1年7ヶ月	8.4倍	IPO
4	L	(株)アイネットサポート	コールセンター	2012/ 7	2016/ 7	4年	1.2倍	トレードセール
5	L	(株)メドレックス	ドラッグデリバリー	2012/ 8	2013/ 2	6ヶ月	3.2倍	IPO
6	E	インヴェンティット(株)	遠隔監視システム	2012/10	2017/ 4	4年6ヶ月	0.02倍	トレードセール
7	P	SCIVAX(株)	超精密製造装置	2012/11	2016/ 9	3年10ヶ月	1.3倍	トレードセール
8	L	(株)リボミック	遺伝子創薬	2012/11	2014/ 9	1年10ヶ月	12.1倍	IPO

卓越した投資パフォーマンス(2)

No.	段階	社名	業種	出資年月	IPOor回収年月	IPOor回収期間	回収倍率	回収方法
9	E	(株)アルフレッドコア	動画配信システム	2012/12	2014/11	1年11ヶ月	0.1倍	会社清算
10	P	(株)ミュートス	医療情報処理	2013/ 1	2017/ 6	4年5ヶ月	1.1倍	トレードセール
11	L	オンコリスバイオフィーマ(株)	ガン創薬	2013/ 7	2013/12	5ヶ月	1.1倍	IPO
12	L	イーレックス(株)	新電力	2013/12	2014/12	1年	1.9倍	IPO
13	P	ブライトパス・バイオ(株)	免疫医療	2014/ 7	2015/10	1年3ヶ月	11.4倍	IPO
14	P	北京視信源	CMOSセンサー	2015/ 4	2015/ 8	4ヶ月	交渉中	IPO
15	L	インディーメディカル	再生医療	2016/ 5	2019/3	2年10ヶ月	1.7倍	トレードセール
16	P	パスイメージング	遠隔病理診断	2016/ 8	2021/ 2(予)	5年6ヶ月(予)	-	IPO
17	P	ORTHOREBIRTH	人工骨	2016/ 9	2020/10(予)	4年2ヶ月(予)	-	IPO

注) IPOを実現した企業。 株価を上げて売却した企業。 株価を下げて売却した企業。 保有中の企業。

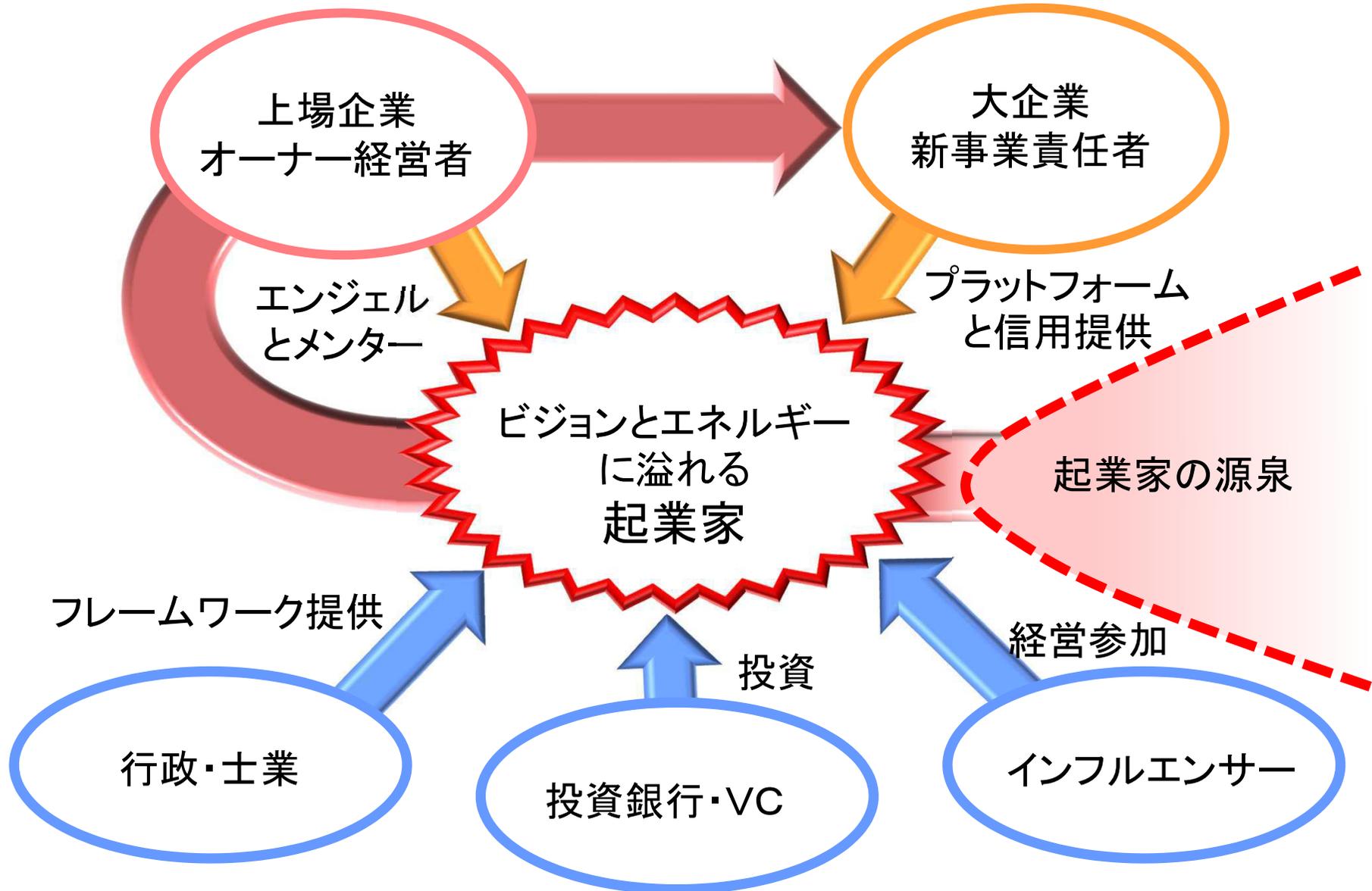
2011年8月～2017年5月の投資分。Delta-Fly Pharmaは公募価格で計算した。

段階の「E」はアーリー、「P」はPOC、「L」はレイター。

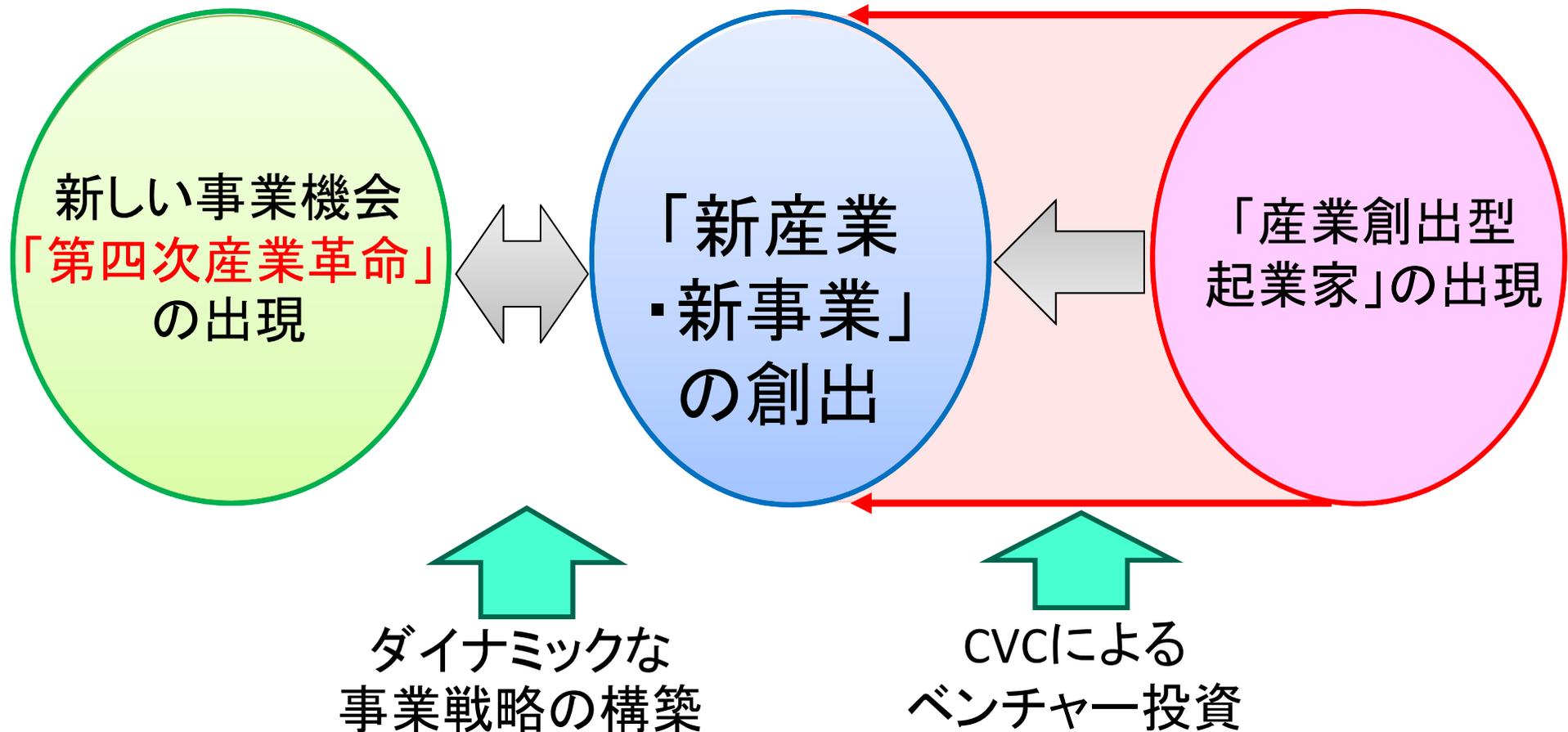
ベンチャーエコシステムとは

- ☆ ベンチャーエコシステムは、第四次産業革命で、全く新しい産業構造を創出するべき時に必要とされるシステムである。
- ☆ ベンチャーエコシステムは、三つの要素からなっている。
 - ① 第一の要素は、「ビジョンとエネルギーに溢れる起業家」であり、新産業創出の主役である。
 - ② 第二の要素は、起業家が成功して上場オーナー経営者になり、大企業となっていく「ダイナミックサイクル」である。
 - ③ 第三要素は、起業家の成長を支える「上場オーナー経営者」、「大企業」、「インフルエンサー」、「投資銀行・VC」、「行政・士業」の存在が挙げられる。

ベンチャーエコシステムとダイナミックサイクル

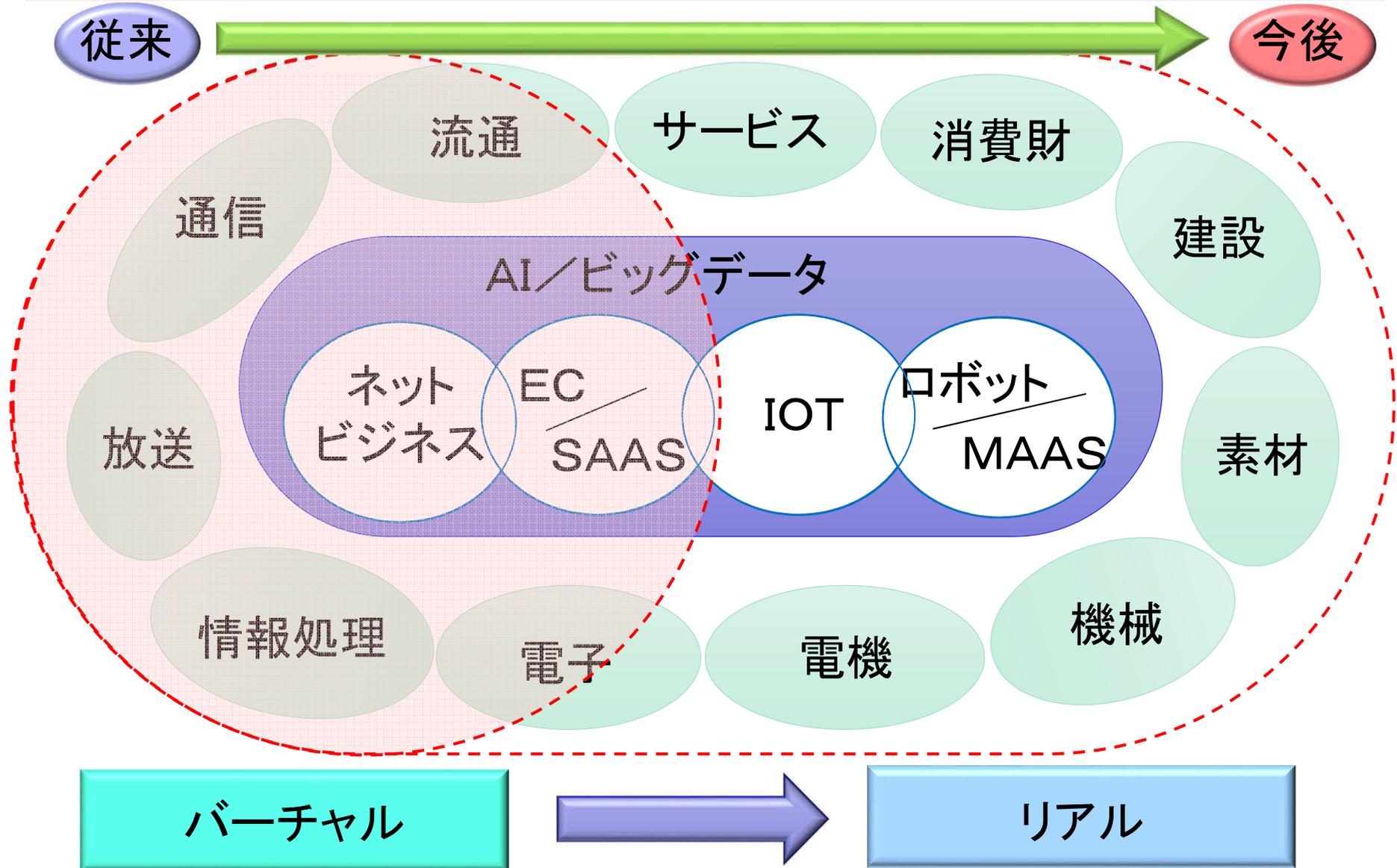


新産業・新事業の創出の起業家の役割



上場オーナー経営者のエンジェルカ・メンターカ
大企業のプラットフォーム・ブランドカ・財務カ

ベンチャーエコシステムの広がり



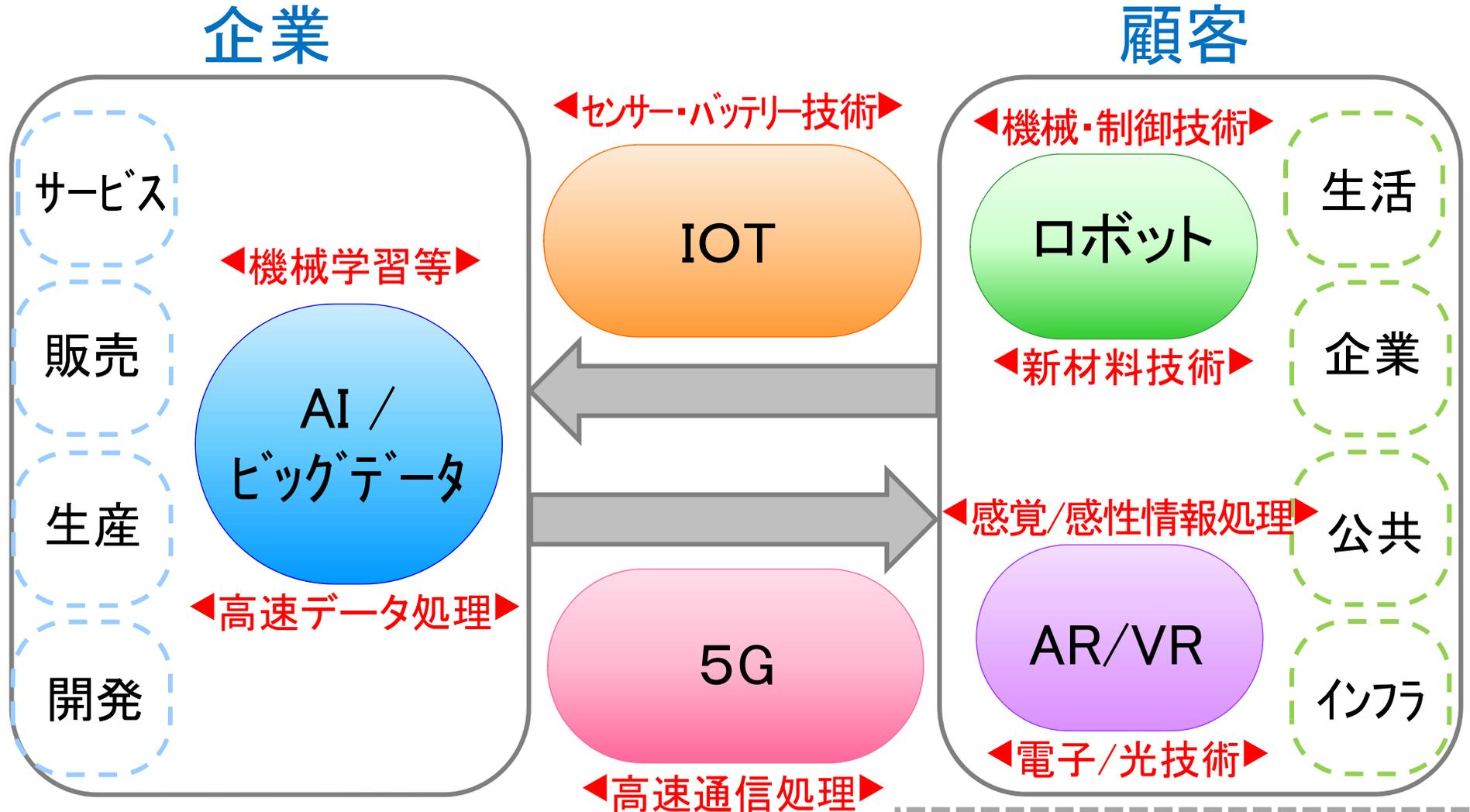
日本の課題： 少子高齢化で需要減・供給減のスパイラル懸念

豊かで幸せな長寿健康社会の実現

働き方・インバウンド
改革

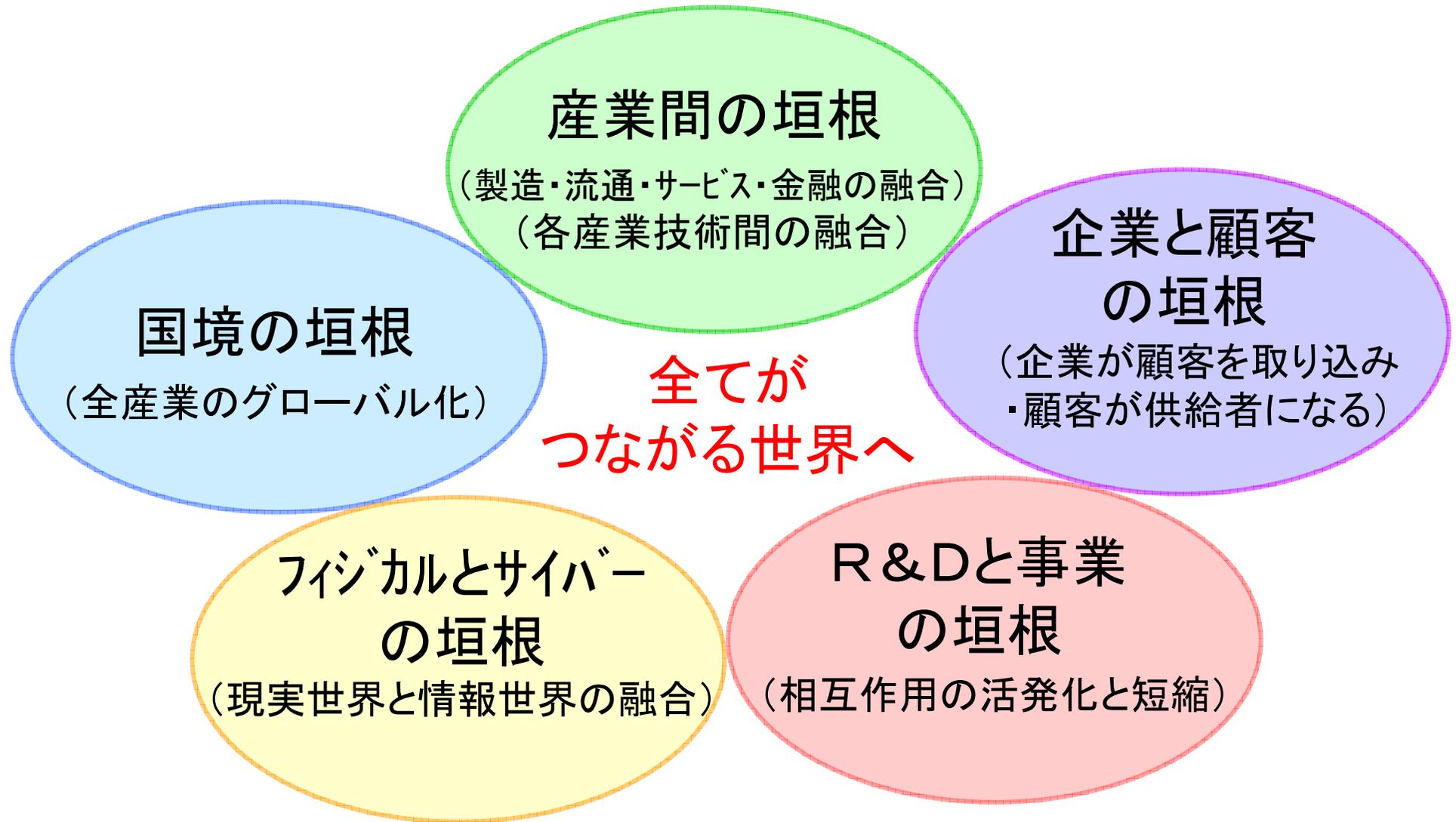
第四次産業革命
「モノの情報化」と「知恵の進化」で
生産性革命

第四次産業革命をリードする 五大成長エンジンと八大基盤技術



注) : 五大成長エンジン
 : 八大基盤技術

第四次産業革命で5つの垣根がなくなる



第四次産業革命から生まれる新産業群

兆円クラスの新産業が相次ぎ出現

◀ 事業デザイン力でプラットフォームハブの争奪 ▶



「大企業の大市場」を「ベンチャーの新市場」が乗っ取り始めた

大企業の大市場	ベンチャーの新市場(ユニコーン輩出)
・人的サービス業	⇒ サイバーサービス(弁護士ドットコム、エムスリー、UUUM)
・店舗型流通業	⇒ EC/D2C(ZOZO、GA Tech)
・規制型金融業	⇒ フィンテック(マネーフォワード、ラクス、LINE)
・仲介サービス	⇒ 直接マッチング(Indeed、メルカリ、M17エンタテインメント)
・所有型産業	⇒ シェアリング型産業(TKP、ラクスル、Uber(米))
・受託型SI	⇒ AI開発(PKSHA、HEROZ、プリファード・ネットワークス)
・産業用ロボット	⇒ サービスロボット(サイバーダイン、RPAホールディングス)
・自動車メーカー	⇒ 自動運転/MAAS(ZMP、自律制御システム研究所)
・情報機器	⇒ IOTソリューション(オプティム、ブイキューブ)



第四次産業革命に関わるIEの投資先企業

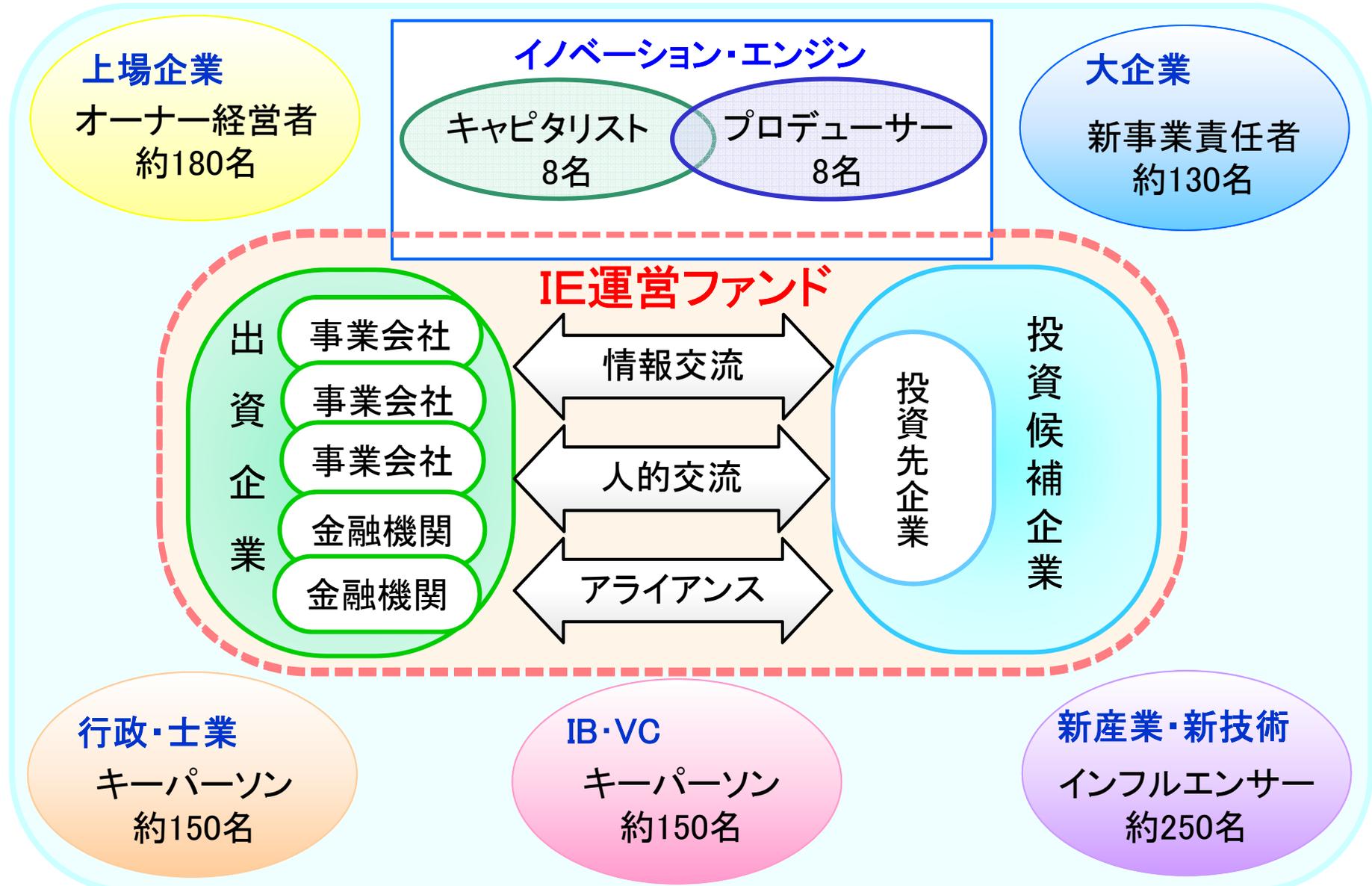
	事業内容	IE投資状況	IPO予定
サイバーサービス			
KIYOラーニング	eラーニング・プラットフォームのトップ企業	主要株主	2020年
AI CROSS	SMSによる情報および配信、ビジネスチャットサービスの提供	主要株主	マザーズ上場
Uncover Truth	ヒートマップによりWebサイトの改善コンサル提供	株主	2021年
フィンテック			
TRANZAX	独立系唯一の電子記録債権事業者	株主	2022年
直接マッチング(インタラクティブ化)			
M17エンタテイメント	アジア展開するインタラクティブ・ライブ配信大手。日本ではトップ企業に	主要株主	2020年
tripla	AIを活用したホテル向け問合せ業界首位。各種予約システムを提供	リード株主	2020年
イオレ	各種団体の運用システムによる670万人データベースを活用したネットリクルートサービス	主要株主	マザーズ上場済
働き方改革			
ママスクエア	託児機能付ワーキングスペースを全国に展開。大手企業と相次ぎアライアンス	リード株主	2021年
CROCO	Webマーケティングのためのクラウド・ソーシング事業	リード株主	2021年
Zenmu Tech	秘密分散により情報安全を実現。政府からの信認も厚い	主要株主	2021年

第四次産業革命に関わるIEの投資先企業

	事業内容	IE投資状況	IPO予定
AI開発			
BRAIN MAGIC	クリエイター用操作デバイスとAIによる最適操作実現	リード株主	2021年
ロゼッタ	AI翻訳のトップ企業	売却済	マザーズ上場済
ハカルス	スパースモデリングによるAI開発	リード株主	2021年
データミックス	データサイエンティスト教育で業界をリード	リード株主	2021年
サービスロボット/自動運転			
ZMP	乗用車や物流の自動運転およびドローンによる検査サービスのリーダー企業	リード株主	2020年
テムザック	介護用・施工用・シティモビリティ用などのサービスロボットのパイオニア	株主	2021年
FCEホールディングス	企業向け研修会社だが、RPA事業が急拡大中	株主	2020年
IOTソリューション			
ネッチ	ネット活用のクレーンゲーム	主要株主	アイモバイルが買収
PicoCELA	多段ホップ無線通信システム。JR東日本からグランプリ授賞	リード株主	2020年
BONX	ヒアラブルデバイスでグループコミュニケーションを実現。リコーと資本提携	リード株主	2021年
Live Smart	スマートホーム向けのシステム提供。大手不動産会社と資本提携	コ・リード株主	2021年



IEベンチャーエコシステム





IEベンチャーエコシステムの意義

- ◇ IE運営ファンドの成功にとって、ベンチャー企業が急成長できる事業環境の創出が最も重要である。
- ◇ IEでは、そのための「IEベンチャーエコシステム (IEVE)」を構築しており、ベンチャー企業の成長にとって必要とされる人材、資金、事業会社などとの出会いと成約を促進する環境を創っている。
- ◇ IEVEは、①起業家を中心に、②上場企業オーナー経営者、③大企業新事業責任者、④新産業・新技術インフルエンサー、⑤IB・VCキーパーソン、⑥行政・士業、の6つのサブシステムからなる。
- ◇ この900名近い(さらに現在拡大中)IEVEネットワークの中で、IEのキャピタリストとプロデューサーが活発に仕掛けてゆくことにより、投資先企業はその成長ポテンシャルを顕在化させていくことができる。
- ◇ また、IE運営ファンドの出資者にとっても、IEVEを利用して投資(候補)先企業と相次いでアライアンスを実現して大きなビジネスチャンスを獲得することができる。